

# トウキョウダルマガエルとは

関東や東北地方を中心とした里山に生息するカエル。トノサマガエルに見た目は似ており、成長すると5～7cmほどの大きさ。手足が短く丸い体形であることが「ダルマ」の名称につながっています。

日本の稲作と里山環境に適応して繁殖してきたため水田の減少や環境の変化により減少し、環境省レッドリストにおいては準絶滅危惧に指定されています。

谷保では日常的にみられましたが、2020年代に激減。調査の結果、国立市では「くにたちはたけんぼ」周辺以外では見つけることが困難となり 地域内での絶滅が危惧されています。

